

最近よく聞くけど…

中学校部活動の地域移行って どういうこと？

「中学校部活動の地域移行」って何？



「中学校部活動の地域移行」とは、学校の部活動に代わり、地域においてスポーツ・文化活動の機会を将来に渡って確保・充実できるように、生徒が地域でスポーツ・文化活動に親しめる環境を新たに構築していきつづける動きのことです。令和4年にスポーツ庁、文化庁からそれぞれ「部活動の地域移行に関する検討会議提言」が出され、以下のような改革の方向性が示されました。



▲クロスカルチャーでバッティング練習中の野球部

改革の方向性

まずは、休日の部活動から段階的に地域移行していくことを基本とします。目標時期は、令和5年度～令和7年度末を別途として、平日の部活動の地域移行はできるところから取り組んでいきます。生徒の多様なニーズに合った部活動機会の充実などにも着実に取り組んでいきます。地域のスポーツ・文化団体等と学校との連携・協働を推進していきます。

地域移行するよ
どうなるの？

- ①部活動に代わって、町外の生徒を含めたクラブチームに参加することができるようになります。中学校総体もクラブチームでの出場が可能になります。
- ②部活動に限らず、自分がやりたい活動に取り組むことが可能になります。平日とは違うスポーツがしたい、プロの芸術家に学びたいなど選択肢が広がります。
- ③教員は授業に集中して取り組むことができ、休日には家族と過ごす時間が確保できるようになります。これまでどおり、部活動の指導をしたい場合は学校に申請すれば可能となります。



なぜ地域移行が
必要なの？

中学校の部活動は、これまで生徒がスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保し、活動を通して達成感を得られ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を高めるなど大きな役割を担ってきました。しかし、以下の背景からこれまでどおりの部活動を続けていくことは難しくなってきました。



▲虹のプラザ「なないろホール」で練習中の吹奏楽部

①少子化の加速で生徒数が減少した

↓団体競技でチームが組めない、競い合う仲間がいない

大石田町でも…

部員数が減少し、部が維持できなくなる可能性がある。

②都市部と地方での地域間格差が拡大した

↓部活動の種類が確保できず生徒がやりたい種目が選べなくなる、試合形式の練習ができないなど

大石田町でも…

一部の種目では部活動がないため、校外（町外）のクラブチームに所属して活動している生徒がいる。

③教師にとって大きな負担になっている

↓競技経験がない教師が指導せざるをえない、休日も含めた部活動指導が求められるなど

大石田町でも…

教師の働き方改革が進められており、今後、教員として休日の部活動指導はできなくなる。

部活動の地域移行には
どんな課題があるの？

地域での受け皿、指導者、施設、大会、会費、保険などの在り方や制度の見直しなど、様々な課題があります。「部活動の地域移行に関する検討会議提言」では、部活動改革の方向は示されているものの、新たな環境の構築については、地域の実情などに照らして関係者で丁寧に協議することとされています。個々の課題については、抽象的な表現にとどまっているものもあり、地域移行後のかたちを現状で想定していくには困難な状況にあります。

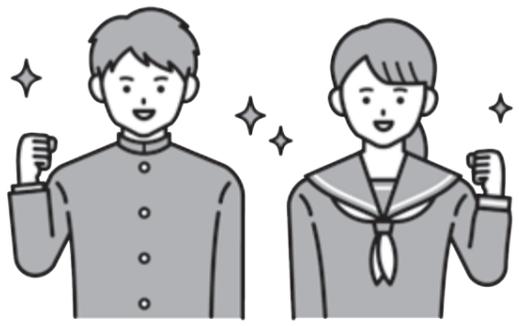
大石田町ではどんな取り組み
をしているの？

これらを受け大石田町でも、町の実情に合った持続可能な活動を検討していくため、「部活動地域移行準備委員会」を設置し、アンケート調査を行うなど、検討をはじめていきます。



▲中学校部活動の地域移行について(町ホームページ)

当面、令和5年度はこれまでと同じ部活動を継続していきます。令和6年度以降の部活動の持ち方は、今後、検討委員会を立ち上げて協議していく予定です。なお、アンケート結果や準備委員会の議事概要については、町ホームページに掲載しています。左の二次元コードからアクセスいただき、ご覧ください。



▲遠征試合中のソフトボール部

大石田町部活動地域移行準備委員会事務局
教育文化課 生涯学習グループ
☎(35)2094